



wattXplorer

エネルギーコストを見える化し、CO₂削減を実現するスマートエネルギーマネジメントシステム

エネルギーデータを企業価値へ変える

エネルギーコストの上昇やカーボンニュートラルへの対応が求められる現在、多くの企業では毎月の電気料金を把握するだけでは十分ではありません。

例えば、次のような課題はありませんか。

- どの設備が最も多くの電力を消費しているのか分からない
- どの工程でエネルギーロスが発生しているのか把握できない
- CO₂排出量を正確に管理できていない
- 製品ごとのエネルギーコストを算出できない
- GXやESG活動のためのデータが不足している

wattXplorerは、こうした課題を解決するために開発されたリアルタイムエネルギー監視・分析プラットフォームです。

wattXplorerとは

wattXplorerは、設備や生産ラインごとの電力使用量をリアルタイムで計測し、エネルギー使用状況・コスト・CO₂排出量を一元管理できるエネルギーマネジメントシステムです。

クランプ式センサーを採用しているため、既存設備への後付けが容易であり、大規模な工事や生産停止を必要としません。

取得したデータはダッシュボード上で可視化され、工場全体のエネルギー状況をリアルタイムで把握できます。



wattXplorerの特長

1. 工事不要で簡単導入

クランプ式センサーを電線に取り付けるだけで測定を開始できます。

- 配線工事不要
- 生産ライン停止不要
- 既存設備をそのまま活用可能
- 短期間で導入可能

導入時の負担を最小限に抑えながら、すぐにエネルギーデータの取得を開始できます。

2. リアルタイムで電力使用量を計測

設備ごとの電力消費をリアルタイムで監視し、

- 設備単位
- 生産ライン単位
- 工程単位
- 工場単位

でエネルギー使用状況を把握できます。

エネルギー消費の大きい設備や異常な使用状況を迅速に発見し、改善活動につなげることが可能です。

3. 分かりやすいダッシュボード

収集したデータはダッシュボード上にリアルタイム表示されます。

ユーザーは、

- 設備間比較
- 生産ライン比較
- 工場間比較
- 過去データ分析
- エネルギートレンド分析

を簡単に行うことができます。

現場担当者から経営層まで、誰でも直感的に利用できる設計となっています。

4. CO₂排出量を自動算定

電力使用量データを基に、CO₂排出量を自動計算します。

これにより、

- カーボンフットプリント算定
- ESG報告
- GX推進
- Net Zero戦略
- Scope別排出量管理

に必要なデータを効率的に取得できます。

環境対応と経営改善を同時に実現します。

5. エネルギーコストを正確に把握

wattXplorerは電力使用量だけでなく、

- kWhあたりのコスト
- 設備ごとのエネルギーコスト
- 製品ごとのエネルギーコスト
- 工程ごとのエネルギーコスト

の分析も可能です。

エネルギーコストを正確に把握することで、より効果的なコスト削減施策の立案につながります。

導入メリット

電気料金の削減

エネルギーの無駄を発見し、効率的な運用改善を実現します。

生産効率の向上

設備ごとの稼働状況やエネルギー使用状況を把握し、生産性向上につなげます。

ESG・GX推進

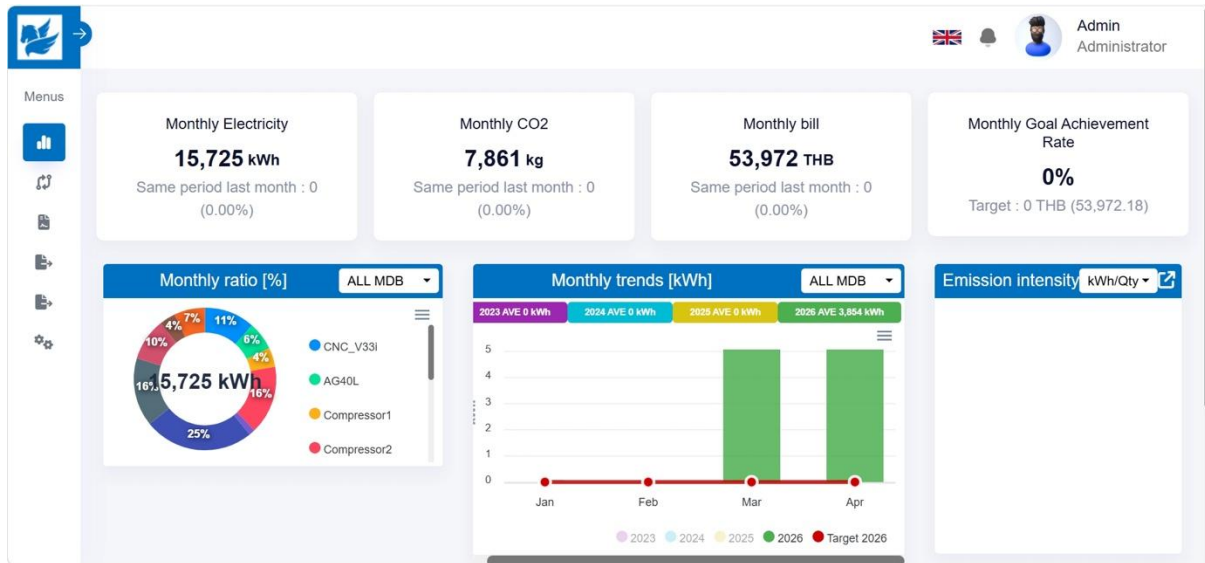
環境データを定量的に管理し、持続可能な経営を支援します。

カーボンニュートラルへの対応

CO₂排出量を可視化し、脱炭素経営への第一歩をサポートします。

このようなお客様におすすめ

- 製造業
- 食品加工工場
- 農業関連施設
- 倉庫・物流センター
- オフィスビル
- ホテル
- 病院
- GX・ESG推進企業



クラウド版・オンプレミス版に対応

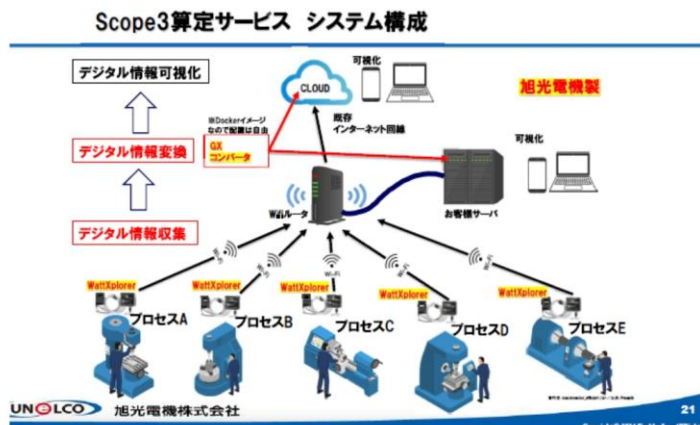
クラウド版

インターネット環境があれば、どこからでもデータの確認が可能です。

オンプレミス版

社内サーバーで運用するため、高いセキュリティ要件にも対応できます。

企業の運用方針に合わせて最適なシステム構成を選択できます。



wattXplorerで課題解決

	課題	wattXplorerで解決
算定方法	機械ごとに電力消費量を算定 電力消費量とプロセス・部品との紐づけ 後から纏めて算定	機械ごとに設置 時間軸で消費電力量の分解、 統合が可能 クラウド、Grafana、CSVデータ
生産現場への導入	機械を止めずに算定機器を設置 導入が簡単	電流センサを電源線に クランプするだけ 電流センサは後からサイズ変更可能 省スペース、省配線 既存Wi-Fiルーターに接続 (専用GW不要)
システム・可視化	クラウド (SaaS) SCADA連携 スタンドアローン	UI、UX、クラウド運営は 実績のある協業先 MQTT・Modbus・CSV Grafana (旭光電機製) Node-RED (お客様で構築/フリーソフト)

■Modbus、Wi-Fi、USB、Grafana、Node-REDは、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
 ■©2025 Kyokko Electric Co.,Ltd. ■特許出願中 ■製品構成は本体と電流センサです。ACアダプタとUSB電源ケーブルは付属致しません。